

町のうき

本籍数	4,357
本籍人口	14,589
世帯数	2,994
住民登録人口	13,738
内 男女	6,590 7,148

6月1日現在

広報 天の町

No. 76

昭和45年

7月1日発行

発行・秋田県天王町役場 TEL(天王)1.42.135

編集・企画室 印刷・一日市印刷所 TEL(018875)2038

六月定例町議会

大谷崎 農道を舗装

一般会計三千四百万円を追加

六月定例町議会は六月二十二日に開会。会期を二十二、二十三、二十四日の三日間としたあと町長報告、一般質問が行なわれた。続いて上程された二十一案件を審議。二十一案件を原案可決、一案件を継続審議にして、二十三日会期を一日繰り上げて閉会した。

二十二日の町長報告、一般質問には、農協婦人部、青年会員等二十名が熱心に傍聴していた。

六月定例議会で可決されたお 億五千九百六十四万六千円ともなものは次のとおり。

- 一般会計 四十五年度一般会計 計補正予算は、歳入 五十万円。
- 歳出にそれぞれ三千四百三十八万五千円を追加。予算総額は三十五万九千九百円(大崎地区)。



▲22日の町長報告

- 五百七十三万円(渡谷地区)
- 農道舗装に伴う土地購入費 三百七十五万三千七百円(大崎地区)、七十万三千四百七十七円(渡谷地区)
- 防火貯水そう(一基) 三十五万円
- 中羽立消防分団機械置場設置費補助金 五十万円
- 中羽立分館建設費補助金 三十五万円
- 牛坂分館建設費補助金 三十五万円

国保特別会計 今回補正され額は五万七千円、これによって四十五年度国保特別会計の予算総額は、歳入歳出それぞれ一億三千七十九万九千円となった。

大崎、渡谷地区 近代化および農道環境を整備するため、四十五年度、四十六年度の二年にわたって大崎地区(宇野沢(孤庵)・宇野沢(昭和町境)・と渡谷地区(宇不動(堀口部落)・宇堀口北野(セイコー電気前))の農道を舗装します。

大崎地区は延長二千四百四十八メートル、幅員五・五メートル。渡谷地区が延長二千四百メートル、幅員五メートルとなっています。

町税条例一部改正 障害者等 非課税の所得最低額が三十万円から三十二万円に引上げられ、給料および賞与等の総収入が五十万円以下であれば町民税は課税されません。

均等額に相当する金額以下の一括徴収 現行制度においては、均等割のみのときに一括徴収されることとされているが、改正案では所得割のみ納める者等についても、その金額が均等割額に相当する金額以下である場合には、一括徴収することとされた。

国保特別会計 基礎控除および配偶者控除が、それぞれ一万円。扶養控除が二万円引き上げられた。各種控除は次のとおり()内は改正前

基礎控除 十三万円(十二万円)、配偶者控除 十一万円(十万円)、扶養控除 八万円(六万円)、医療費控除 三十万円(十五万円)、障害者控除 八万円(七万円)、特別障害者控除 十万円(九万円)、高齢者控除 八万円(七万円)、勤労学生控除 八万円(七万円)、寡婦控除 八万円(七万円)

人権擁護委員 天王町七十一候補者の推せん 番地鈴木哲宗氏、羽立百八十四番地安田慶太郎氏が任期満了となったので再推せんし、故藤原寛一氏のと上に江川四十七番地の五百十六藤原久氏を推せんするもの。

寄付金納願 二田児童館建設事業費にあて、二田児童館建設実行委員会(伊藤邦夫委員長)から申し出のあった百万円の寄付を採納するもの。

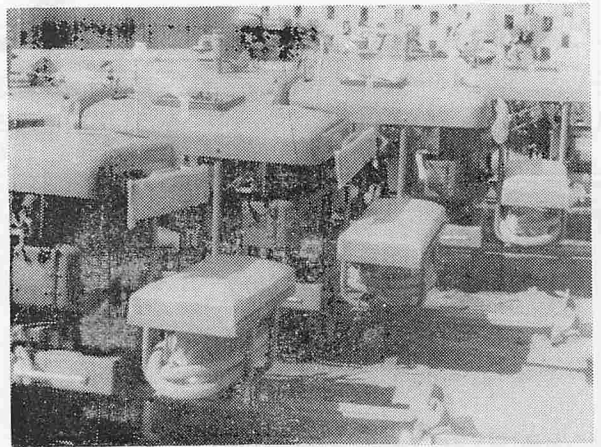
職員定数 天王町職員定数五十八人に、町長一般補助職員はこれまでの五十六人から二人増の五十八人となった。現在、臨時職員で事務処理が行なわれているが、事務の責任態勢や身分の安定を図るために、今回の定数改正となった。

農協婦人部青年会員が熱心に傍聴する



▲農協婦人部青年会員が熱心に傍聴する

設立 防除組合を設 大崎部 落で



▲購入した大型防除機械

本町の太崎部落では、農産物の病害虫防除体制を確立し、農薬の安全使用、防除を効率的に行ない農業経営の近代化を図ろうと六月十二日「大崎防除組合」を設立した。

設立までに、推進協議会や部落説明会などを開き、部落民の理解ある協力でできたもので、同組合では、さっそく大型防除機械を四台購入した。同部落の受益戸数は百八十戸

統計グラフの作品募集

県では、県民に対する統計思想の普及向上をはかるため秋田県統計グラフコンクール作品を次のとおり募集しています。たくさん応募してください。

一、応募資格 第一部 小学校児童、第二部 中学校生徒、第三部 高校以上の学生、第四部 一般。

二、課題 各部とも自由。ただし、第一部の作品は、児童が観察した結果をグラフにしたものとする。第二部の作品は、既存統計の利用または生徒が観察した結果をグラフにしたものとする。三、材料の規格 第一部、第二

部の用紙規格はB2判とする。第三部、第四部の用紙規格は、B1判とする。四、送付先 秋田県総務部統計課（秋田市山王四丁目一ノ一）五、締め切り日 昭和四十五年九月十六日 六、応募上の注意 ①応募作品は、創作であること。②応募作品の裏面には、住所、氏名、性別、職業（児童、生徒、学生の場合は所属校名、学年）年齢を明記すること。なお、住所、氏名、学校名には、必ず「ふりがな」をつけること。③各部とも必ず統計表を添付すること。④応募点数につ

面積が百七十ヘクタールで、薬剤費、機械導入費、防除費、運営事務費などを含めて、十アール当たり五回配布で個人負担が約二千四百五十円。第一回目の共同配布は、六月十六日から始まっているが、同組合では、「個人で配布するより経費もズット安く、能率も上がる」と目下、大好評を得ている。

明るく正しい選挙の ポスターを募集

自治省、文部省、都道府県選管、区市町村選管などの主催で「明るく正しい選挙宣伝ポスター」の作品を募集しています。明るく正しい選挙をおすすめるうえに役立つポスターをたくさんお寄せください。

【応募規定】
(1)内容 明るく正しい選挙をすすめることを表わしたものであること。
(2)応募資格 小学生、中学生、高校生（ひとり一点自作のものは制限しないが、応募作品が二枚以上のシリーズものは認めない）。

七、指導上の注意
児童、生徒に対する察は、つぎのことについて留意すること。
①資料の選択および取り扱い方に対する指導者の助言はさしつかえない。②表現（グラフ）の段階では、児童、生徒の自主性を尊重し指導者が技法的に介入しないこと。
八、入賞発表 入賞者の発表は十月下旬。第一部、第二部、第三部については、所属学校長あて、第四部については、本人あて直接通知する。
※その他については、詳しいことは、秋田県庁統計課におたずねください。

なお、六月十二日の組合設立総会で決まった役員名は次のとおり。
▲組合長 三浦善七郎、▲副組合長 三浦喜己之助、▲会計担当理事 三浦義勝、▲監事 三浦文雄、秋野庄吉、▲理事 三浦甚五郎、三浦兼、三浦耕造、吉田義男。

商工会 珠算検定試験の合格者

町商工会では、六月七日に天王中で行なった第二十五回商工会珠算検定試験の合格者をこのほど発表した。受験者百二十五名のうち合格者は四十八名で、三級の合格者は九名となっている。
合格者は次のとおり
【三級】加藤繁子（天王中）
鈴木美智恵（天王小）、京谷厚
【審査】
▽第一次 町選管、▽第二次 県選管、第三次 中央審査
【賞】
(1)文部大臣、自治大臣連名の賞状と連合会長より副賞が
一等一名、二等二名、三等三名（小、中、高各）に贈られた。
(2)その他佳作各若干名に賞状と記念品。そのほか第二次審査通過者には県から賞状と賞品、出品者全員に記念品が贈られます。

ものに限る）
(3)締め切り日 四十五年九月五日
(4)提出先 天王町選挙管理委員会（役場内）
(5)色と大きさ 色彩は自由、大きさは四五cm×三〇cmから五五cm×四〇cm。
(6)その他 作品の裏右下に県名、学校名、学年、氏名（ふりがな）、性別を必ず書き入れてください。入賞作品は自由に利用させていただきます。

たすけあい資金 制度のお知らせ

天王町社会福祉協議会では、これまでも貸し付け事業を行なっていました。このほど町から助成がありましたので、貸し付け額を最高三万円にすることなど、規定を一部変更して実施しますので、お気軽にご利用ください。
▼貸し付け金の種類
一、就職するために必要な経費等（更生資金）
二、疾病の療養をしている期間中の生活維持に必要な経費および出産に必要な経費等（生活資金）
三、就学するための必要な経費（修学資金）
四、疾病の療養に必要な経費（療養資金）
五、災害を受けたことによる困窮から自立更生するために必要な経費（災害援護資金）
▼貸し付け金額
限度額 三万円以内
▼償還方法
月賦償還
▼申し込み方法
町社会福祉協議会備え付けの「借入申し込み書」により、地区担当民生委員を通じて申し込みのこと。
※詳しいことは、役場内社会福祉協議会か担当民生委員へお問い合わせください。

所得税第一期分の納税は七月三十一日まで
七月は所得税第一期分の子定納税をする月です。しかし、災害や転業、廃業などのため、この月の税額が通知された予定納税額より少なくなると見込まれる場合は、七月十五日までに税務署に申請して、予定納税額を減らすことができます。

7月の農作業のポイント

◎病害虫の徹底防除と農薬の安全使用

(イ)イモチ病 七月上旬頃より葉イモチ病の発生が多くなり、被害はイモチ病の発生が多いとそれだけ穂イモチ病が多くなり被害も大きくなる。この時期は発生をみなくとも、予防の意味で薬剤散布が大切である。早期発見には自分の水田だけでなく、集団で見回り、集団で防除するのがよい。七月中旬以降の薬剤散布は下葉まで薬がとどくようにかける。

(ロ)モンガレ病 最近、モンガレ病の発生が目立ち、イモチ病に次ぐ重要な病害になってきたので、七月中旬下旬にかけて有機ヒ素剤を十アール当たり、四〇五〇、水溶剤二〇〇二千五百倍液、百五十〇を散布する。

散布回数、普通一回でよいが発生が多くなる時は、出穂直後にポリオキシン粉剤、水溶剤六百倍液をさらに散布する。

(ウ)農薬の安全使用

▼人畜に対して毒性の低い農薬を選ぶこと。▼共同防除を行ない、散布する時は交代し、ひとりで長時間散布しないこと。▼防除機が作業中、故障しないよう、じゅうぶんに点検しておくこと。▼散布の前日は、酒をあまり深飲みしないこと。▼徹夜などしないで、からだの調整を整えておくこと。▼服装の不十分な人が中毒になる場合が多いので、顔、手足等にカネクターFなどの保護クリームを塗り帽子、マスク、ゴム手ぶくろ、長袖の上衣、長ズボン、メガネゴム長くつを着用する。汗ふきは外部に出して着かないこと。▼気分が少しでも悪くなったら医師の診断を受けること。▼医師の診断を受ける際は、農薬の散布作業に従事し、なんの農薬を取り扱ったか、その内容をよく告げること。

◎幼穂形成期前後の水管理

七月は、分けつ最盛期から穂ばらみ期に当たる。天候によっては出穂する。七月の前半は、無効分けつをおさえるとともに下部節間の伸長防止に重点をおいて水管理を行なう。

この時期は、地温の上昇とともに土壌中の肥料の分解がすすみ、有毒ガスの発生のため、根ぐされを起こしやすい、気温の高いときは、ごく浅水にするか中干しをして水の交換を行なう。

◎穂肥

(イ)穂肥の時期 普通出穂二十五〜二十日前頃に散布。中干し止草除草、かん水、穂肥の順序で仕事をすすめる。早生種で茎数が不足している場合や、レイメイのように強稈で栄養が不足している場合には、むしろ出穂二十五日前、またはこれよりも早く散布す。肥よく湿田で

倒伏の心配な品種には、出穂二十日前よりも早まらない方がよい。

田植え機等で稚苗植えなどでじゅうぶんな茎数が得られた稲に對し、一穂えい(穎花)数は低下しても、倒伏障害をさけ登熟の低下を防ぎたい場合にはかなり肥切れさせたのち、出穂二十〜二十五日頃に散布。

(ロ)穂肥の量と回数 穂肥の量はいろいろな条件を考慮して総合的に決めるが、稲がすすむの場場合は、遅めに、しかもひかえめに散布。日照豊富なときは二度目の穂肥が必要になるところがあるが、穂肥の判断がつきにく

46年度の葉たばこ耕作の予約

は七月十日までに

生産者米価の据え置き、米の生産調整などで稲作経営に波紋を投じているなかで、葉たばこの生産は、毎年約一割の値上りを続けています。十アール当たり十万円から十三万円ぐらゐの生産をあげ、葉たばこ耕作は

管理に留意し、早期発見、早期治療に専念するように努めてください。

また、事業として医療給付のほか助産、育児手当等の支給高血圧病および予防対策費など大部分被保険者の皆さんに還元されることになっていきます。このことについては、後日各部落で座談会を開催し、詳細にご説明する予定です。

い場合には、二度に分けて散布のがよい。

(イ)トヨシキの穂肥 一次枝梗数が多いわりに二次枝梗数が少なく、また粒数を増すための穂首分化期頃の追肥は期待できない。また、強稈ではあるがこの時期の追肥は、分けつが遅発したり、長稈になりやすいため、倒伏の危険性があるので、この時期の穂肥はさけること。減数分裂期(出穂十五日前)の穂肥は、登熟の良化に効果があり、生育量、草姿を調整の上この時期の追肥を重点的に行なう。施肥量は窒素成分にして二〜三〇ぐらゐ。

有望視されています。

町の農業技術指導者連絡協議会では、今年度このことに着意し、町と農協から補助金を出してもらい、休耕水田における葉たばこの試験(圃)を試みたところ、普通畑以上に生育もよく、普及のうへで自信を深め、来年度の休耕田にはできるだけ葉たばこを進めることにしました。

農近ゼミを開く

町では新しい時代に生きる農業青年を育成するために、農業近代化ゼミナールの会員を募集していたが、このたび三十八名(うち女子十名)で開講することになった。

この農近ゼミは四十五年度から県の方針が変更、二十五歳未満の農業青年(兼業でもよい)であれば、だれでも入会できることになっているので、希望者は町公民館に申し込みをしてください。

▽役員

会長 伊藤良勝(二田) 副会長 後藤幸三(二田) 桜庭本子(塩口) 事務局 長 保坂忠雄(二田)

▽学習計画

生活部会 毎月第二日曜日に集会。①年齢別、性別、労働別栄養所要量 ②食品の栄養価 ③食品の分類 ④家族構成と献立のたてかた ⑤栄養診断 ⑥食物費と献立 ⑦実習など十回にわたって学習するとともに、生花も ①直立型 ②流、型 ③四方見型 ④小品型 ⑤平面型 ⑥線の花 ⑦面の花 ⑧マスの花など十回にわたって学習することになっている。

全体集会 毎月第二日曜日と下旬に一回の月二回。①生活記録集(機関誌)の発行 ②キャンプ ③先進地視察(他ゼミとの交流) ④一般教養 ⑤農事講習 ⑥話し合い ⑦プロジェクト学習などを行なうことになっている。会費はひとり、年額三百円。

国民健康保険のしおり

国保税の値上げの概要

国民健康保険事業特別会計の昭和四十五年当初予算は、一億三千七百四十二千二百四十四年度決算見込み額より三千四百一十一万八千円増えています。国保税は、当初予算五千二百二十九万一千円で四十四年度決算見込み額より二千八百八十七千余円(推計)多くなり、一世帯平均二万六千八百八十四円。ひとり当たり六千四百五十四円と被保険者のみなさんの負担(国保税)となります。

こうした国保税の値上げの原因は、ひとこと言えば医療機関に支払われる療養費が年々多くなっているためです。昭和四十四年度中に支払われた医療費および保健活動費等が九千六百六十二万九千余円となっており、こ

の財源にあてるため、国からは補助金として六千四百四十七万九千円がきています。後の残りは被保険者の皆さんから国保税として負担していただいている実情です。

もつとも医療費の増加には、

数々の要因があり、数字のみでこれをどうのこうのと言う判断もむずかしいと思います。増加の要因は、医学の高度の発展により、今まで容易にでき得なかつた心臓、胸部、脳等外科手術が可能となり、不治とされた病

気の治療ができることなど各種の検査機能の充実、それに加え、良き良き高価な新薬の投与等が重なって、医療費の増加となっていることも事実です。これらの医学および医療技術の向上によって医療費の増高をも

たらしているものの、これによって被保険者の健康水準も高まり、生産性の向上や経済活動の高度化をもたらしている大きなプラスを無視することはできないことも事実です。

被保険者の皆さんには、健康

要求米価貫徹天王大会

このほど町農協政治連盟(会長 佐々木幸蔵農協組合長)は農家代表、青年部員が主体となつて「要求米価貫徹天王大会」を行なった。ことしは一俵(六十キログラム)当たり、九千九百二十六円を要求している。

大会終了後、広く町民に理解してもらおうとバイク二十台、トラクター十五台、自動車二十五台をつらね、町内十七部落をパレードした。

減反の面積確認は七月一日から七月二十日まで実施

改良組合長立会のもとに地区ごとに行なうことになりました。本人へは実施日時等について別途通知する事になっているがぜひ立会ようお願いします。

悩みや願いを語る

高校生の集いを開催

町公民館と町青少年問題協議会では、六月六日の土曜日、町公民館で「高校生の集い」を開いた。

これは、高校生がみんな、こんな生き方をしてみたい、こうしたら良いのではない、か、という願いや、悩みを語り合い、レクリエーションなどで、楽しいひとときをつくり、高校生活を有意義にしようというも

当日は「高校生ののぞましい男女交際について」を活発に話

家庭バレーボール大会

は七月二十六日に

町では第十四回家庭バレーボール大会を七月二十六日(日)九時から天王町公民館、天王中学校体育館を会場に行ないます。この大会は健康なからだとなりよい人間関係をつくるために行なわれるもの。

チーム編成は次のとおりです。

▼女子チームの編成

①主婦であること(未婚者は出場資格はない)

②年令は満二十歳～二十九歳までの人が四名以下、満三十歳以上の人が四名以上

③補欠は各一名とする

▼出場資格はない

①年令は満三十歳～三十五歳までの人が六名以下、満三十六歳以上の人が二名以上

②補欠は各一名とする

▼選手は町に住んでいる人であること。

▼選手は一チーム八名としひ

し合い。誰からみても自然で、しかも良い印象をあたえる交際ののぞましい。など、高校生らしい若々しい純真な意見が多く出された。このあと、レクリエーションには、黒猫のタンゴに合わせてのフォークダンスやゲームで、楽しいひとときを過ごした。

町では、今後さらにこの輪を広げ、高校生みんなで楽しくこの集いを運営して行くことを望んでいます。

とりの人が一チームより出場できない。

▼ひとつの部落から数チーム出場させてもよいが、その場合はチーム名を明示する。

▼申し込み

①七月二十二日(水)までにメンバーを添えて、天王町公民館事務局に申し込むこと。

②抽選のための監督会議は七月二十二日午後二時から天王町公民館で行なう。

③監督会議までに参加申し込みのない場合は参加を認めない。

親子のつどい

＝大崎部落で＝

親子の断絶をなくし、すこやかな子どもを育て、健全な人間関係を築くために、去る五月三十一日(日)午前十時から大崎堤防を会場に、親子レクリエーション大会が行なわれた。

これは大崎分館(分館長、吉田新悦氏)が中心になり、父親

医療費を支給

町では、高齢者に対し、心身の健康を保持し、明るい老後を送ってもらうと「老人医療費」を支給しています。

これは、昭和四十五年一月一日から実施しているもの。本町に住民登録をしていて八十歳以上の方で、各種医療保険のう

75歳から

る被保険者および被扶養者のうち老齢または障害福祉年金受給

健康管理

夏バテ対策

七月も中旬をすぎると暑さはいよいよ本格的になって、とくに日本の夏は、温度と湿度が高いため、からだにこたえます。日ごろ健康には人一倍自信を持っていても、人はいえないだるさを自覚したら「夏バテ」かみている。これは、高温学級、安全協会、PTAなどが協賛して、今年をはじめて実施したものだ。

五月晴のもと、親子の話し会いやゲームなどを行ない、楽しい一日をすごした。

とくに、新山巡査部長の自転車の正しい乗り方、正しい歩き方などの交通安全についての講話に熱心に耳をかたむけていた。

参加した五十名の児童、生徒からは「大変楽しかった。秋にもう一回行なってほしい」という要望がだされ、世話をした二十名の親たちは、もっと親たちが多く集まることのできるように、時期や内容を検討して、つぎはこの成果のうわづみをしようとして張りきっていた。

子供会リーダー講習会実施要項

町青少年問題協議会では、こども会の子どもの健全な育成と発展をはかるため、七月二十九日～七月三十日までの二日間、町公民館で「子ども会リーダー養成講習会」を行ないます。

資格は、小学五年生～六年生、中学一年生～二年生。ただし本町の小、中学生で、リーダーまたは将来リーダーとなるに適當な生徒。受講料は三百円。受講者の携行品は①第一日目の昼食②米三合五勺(三食分)、③洗面用具、④筆記用具、⑤運動ぐつ、⑥運動ズボン、⑦毛布一枚⑧海水着、⑨ねまきまたはゆか一枚。

受講希望者は、各学校をとおして七月二十日まで町公民館へ申し込みください。

水泳教室を開きます

町では児童、生徒の健康なからだづくりをめざすととも水泳シーズンをむかえて、事故発生の防ぎのために水泳教室を七月十九日(日)午前十時から天王小学校プールを会場に行ないます。

◎参加対象 各学校教諭、幼稚園、保育所職員、分館、地域PTA、青少協地域組織などの関係者、その他希望する者。

◎講義と実技

①児童生徒の水泳指導について

②人工呼吸法と救助法について

③泳法について

△映画

△携行品 水着、昼食

交通事故を防止しよう

本年六月二十日現在天王町では、人身事故三十九件(昨年度同期二十九件)の発生を見られます。うち死亡事故は二件(昨

年度同期ゼロ件)です。事故の九割までは天王町の住民が当事者となっている現状です。なお、目だっている事故ですが人対車の事故、酒酔い運転事故の多いことです。今後暑さに向うため運転がとかく緩慢になりがちなので、運転者は運転に注意して、本年重点目標である「老人と子どもを交通事故から守る」「酒飲み運転の追放」に協力されて、天王町は交通事故のない町になるようお願いします。

会長に菅生氏

天王町老人クラブ連合会理事が六月二日、できあがったばかりの老人の家(ことぶき荘)で開かれ、会長に菅生周助氏、副会長に柏崎新七氏、会計に三浦三蔵氏が選任された。

なお、今年度の老人クラブ連合会総会は七月十三日、午後一時から町公民館で開催します。例年どおり余興も行ないますので会員の方は、すすんで出席してください。

みんなで本を読もう

土曜日の午後、日曜、祭日を除いて毎日貸し出しています。毎日の忙しい生活の中で「30分間読書運動」に、みんなで参加しましょう

町公民館

今年も日頃の重労働から解放され、田植後の一日をレクリエーションを兼ねた体育大会で過ごそうと、分館、PTAが主催となって六月二十一日の日曜日、出戸小グラウンドで第四回目の出戸地区体育大会を開催した。

ヨー・ドーン



午前九時半に開会式が始まり、さっそく競技に入った。最初のプログラムは小学生の八十、百メートル競走。種目は昨年より

ぶつつけ本番の選手 第四回出戸地区体育大会

四種目多い全部で十六種目。年寄りも若者もいっしょになって楽しめる競技ばかりだ。参加者たちは、速いのか遅いのか走ってみるまでわからない。ヨー・ドーン。スタートの合図が青空に吸い込まれる。ゴールめざして懸命に走る。大部分の選手はぶつつけ本番そのもの。「とにかく走ってみるだけ」そんな風景があらこちらにみられる。そこが地区体育大会の楽しいところでもある。

花嫁さがしでは男女入り乱れて相手さがしに必死。番号違いの嫁さんを引っぱってぐるぐる浮気型から顔を見合わせながらのアツアツ型やカケオチ型までさまざまだった。

応援の方も朝早くから手料理の詰まった重箱を背につぎつぎに応援にかけつける。あちらの部落こちらの部落からガンパレ、ガンパレの声援が送られる。走る方が懸命なら応援する方も懸命だ。

ファイナレは分館対抗二百メートルリレーで第四回出戸地区体育大会の幕をおろした。

▲しつかりかぶつて走らないとダメですよ(タルマリレ)

自衛官募集

自衛官を募集しています。日本の平和を守る自衛官。規律正しい生活、学習、訓練、スポーツですぐれた社会人として成長します。

身分・待遇 特別職の国家公務員で二士初任給

常時受付、毎月入隊
は月一万七千七百円のほか、各種手当、賞与年三回、退職金もあります。

福祉・厚生 衣、食、住は無

料。健康管理には万全を期し、スポーツ、趣味、娯楽、隊外クラブ、売店など厚生施設にはとくに力を入れています。

特点・進路 各種専門技術の免許をとる機会も

- 当日の成績は次のとおり
- ▼部落対抗リレー ①上出戸、②出戸浜駅前、③下出戸
 - ▼綱引き ①上出戸、②細谷、③下出戸
 - ▼ボール送り ①三軒屋、②細谷、③下出戸
 - ▼分館対抗リレー ①上出戸、②三軒屋、③細谷

成人式は八月十五日に

町では昭和四十五年度の成人式のもち方について、新成人の代表者会議を開き、新しい門出にふさわしい、有意義なものにしようとの協議をかさねてきたが、つきよって実施することにきまつた。

▽とき 八月十五日午後三時
▽ところ 天王町公民館

グラウンド整地後 初の野球大会

天王中は準優勝

天王中学校体育後援会(藤原磨一郎会長)と天王中学校(神谷正二校長)では、毎年開催している中学校選抜野球大会を六

▽主な内容

- ①式典 ②話し合い ③ゲームとソング ④キャンプファイヤー
- ▽夕食と帰宅のための町内巡回バスは町で用意することにしてる。
- ▽名簿の確認を公民館事務局と新成人代表者ですすめておりますので、お問い合わせは公民館へ。

出戸浜は招く

十日に浜開き

七月にはいと急に海が恋しくなってくるが、出戸浜海水浴場の浜開きは昨年と同じ、七月十日(金曜日)に海上安全祈願祭の神事で幕をあげ、八月三十

日までの二カ月近くにわたって文字どおりクッカパ天国々となる。



▲涼を求める海水浴客(昨年写す)

月十三日と十四日の二日間、きれいに整地された同校グラウンドに八郎湯中、払戸中、船越中、秋田北中、土崎中の五チームを招いて行なった。これは今大会で六年目。

同校グラウンド(北側)の整地作業が、四月初めから村山組(天王)の手で急ピッチに進められ、バックネットも北側すみに石井鉄工所(二田)の手で取り付けを終えたばかり。

この北側グラウンドでの野球大会はこれが初めて。試合は、一回戦から中学生らしい、キビキビしたプレーの連続。天王中は払戸中、秋田北中を敗り決勝で船越中と対戦3-0で敗れ、準優勝となった。

改装が行なわれている。昨年の期間中は雨天の日が多く、海水浴客の足もしぶりがちだったために、準備にそいしむ人たちも「ことしこそは」と、その腕へ自然に力ははいる。

ここ二、三年は、マイカーブームのついでで来る人もウナギのぼりにふえているため、町では、四十一年、四十三年と駐車場を拡張。広さは、二万五千平方メートルで一度に七百台収容できる——と受け入れ体制も万全だ。組合側でも、最近では男鹿半島めぐりの行き帰りの客もめつきり多くなり、ことしは昨年の分もとりもどそうと、十日の浜開きを目前にして準備に懸命にとりくんでいる。

期間中の行事

- ◆七月◆ 十日 浜開き、海上安全祈願祭 十九日 宝さがし 二十六日 闘犬大会
- ◆八月◆ 二日 砂の芸術祭 九日 海陸リレー大会 十六日 幸運宝くじさがし 二十三日 黒ん坊大会 三十日 すいか祭

